

第 47 回 荒川区政世論調査

《概要版》

荒川区では、区民の皆様のご意見やご要望を区政に反映するため、毎年、区政世論調査を実施しています。この調査によって得られた結果は、適切に把握・分析した上で、すべての区民の皆様に幸福を実感していただける、よりよい区政運営のための基礎資料として活用してまいります。併せて多くの皆様に参考にしていただければ幸いです。

調査の実施に当たり、ご協力くださいました区民並びに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

荒川区区政広報部秘書課

◆調査の概要

◇ 調査対象	区内在住の満 18 歳以上の個人	◇ 配布方法	郵送配布
◇ 対象者数	3,000 人	◇ 回収方法	郵送または電子申請による回収
◇ 抽出方法	層化 2 段階無作為抽出	◇ 有効回収数 (率)	1,363 件 (45.4%)
◇ 調査期間	令和 4 年 9 月 1 日 ～令和 4 年 9 月 30 日		

◆調査内容と主な調査結果

【居住と生活環境】住み続けたいと回答した方は 8 割半ばを超えている。

【広報活動】区政に関する情報の入手方法について、「あらかわ区報」と回答した方が 5 割半ば近くで最も高く、次いで「荒川区ホームページ」が 2 割である。

【デジタル化の推進】行政サービスのデジタル化でサービス向上を期待するものは、「夜間・休日を問わず、窓口に行かずに手続きができる」が 5 割半ばを超え最も高い。

【防災対策】災害時に備えた食料や飲料の備蓄について、「普段使っている食料を多めに購入しておくようにしている（日常備蓄）」と回答した方は、6 割弱で最も多く、次いで「備蓄用として販売されている長期保存用食料等を備蓄している」が 3 割半ばである。

【芸術文化活動】この 1 年間に芸術文化活動・鑑賞を行わなかったと回答した方は 5 割近くである。

【健康づくり】健康に気をつけるようになったきっかけは、「健診結果を見て」が 4 割で最も高く、次いで「病気をしたので」が 2 割半ばを超えている。

【スポーツ振興】パラスポーツに関心がない方は 6 割半ばを超え、次いで、パラスポーツを体験したことはないが、今後参加したいと考えている方は、2 割である。

【公園利用】新しい公園で欲しい機能は、「休憩場所（ベンチ、日よけ等）」が 6 割近くで最も高く、次いで「四季を感じられる植栽」が 5 割強である。

【マンション】集合住宅の管理・修繕に関して感じる不安では、「管理修繕費がかかることによる共益費の値上がり」が 3 割半ばで最も高い。

【区政への関心と要望】区政への関心度は、関心があると回答した方が 5 割半ばである。

◆概要版の見方

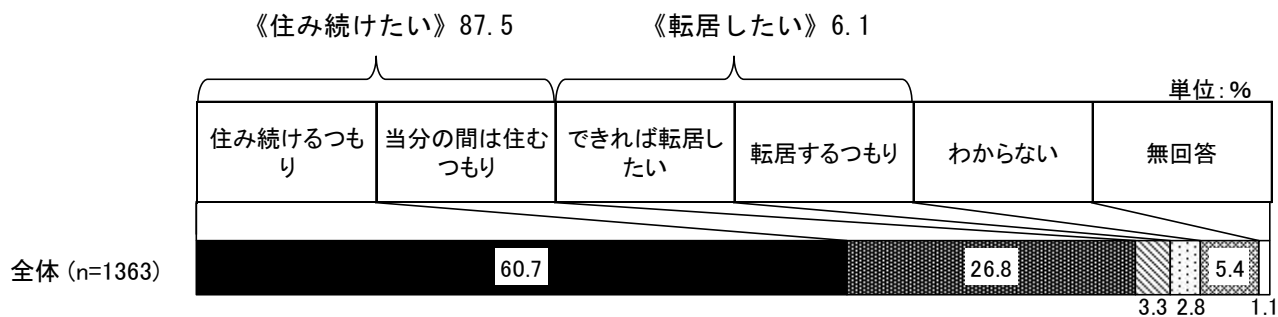
- ☆ 図中の「n」は、その設問の回答者数を表しています。
- ☆ 小数点第2位を四捨五入したため、回答率を合計しても100%にならないものもあります。
- ☆ 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数としたため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがあります。
- ☆ 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によって語句を簡略化してあります。
- ☆ ライフステージは、以下の定義に従って区分しています。
 - ・家族形成期 「39歳以下で同居している子どものいない夫婦」または「同居している一番上の子どもが小学校入学前」
 - ・家族成長前期 「同居している一番上の子どもが小・中学生」
 - ・家族成長後期 「同居している一番上の子どもが高校・大学生」
 - ・家族成熟期 「64歳以下で同居している一番上の子どもが学校卒業」
 - ・高齢期 「65歳以上で同居している一番上の子どもが学校卒業」または「65歳以上で同居している子どもはいない」
 - ・高齢期(一人暮らし) 「65歳以上で一人暮らし」
 - ・一人暮らし 「64歳以下で一人暮らし」

この概要版は、荒川区政世論調査報告書を抜粋し、まとめたものです。報告書全文は、区役所地下1階の情報提供コーナーや各区立図書館、荒川区ホームページでご覧いただけます。

1. 居住と生活環境 【継続調査項目】

設問：これからも荒川区にお住まいになりますか。（回答は1つ）

「住み続けるつもり」（60.7%）と「当分の間は住むつもり」（26.8%）を合わせた《住み続けたい》（87.5%）の割合が8割半ばを超え、高い割合を示している。

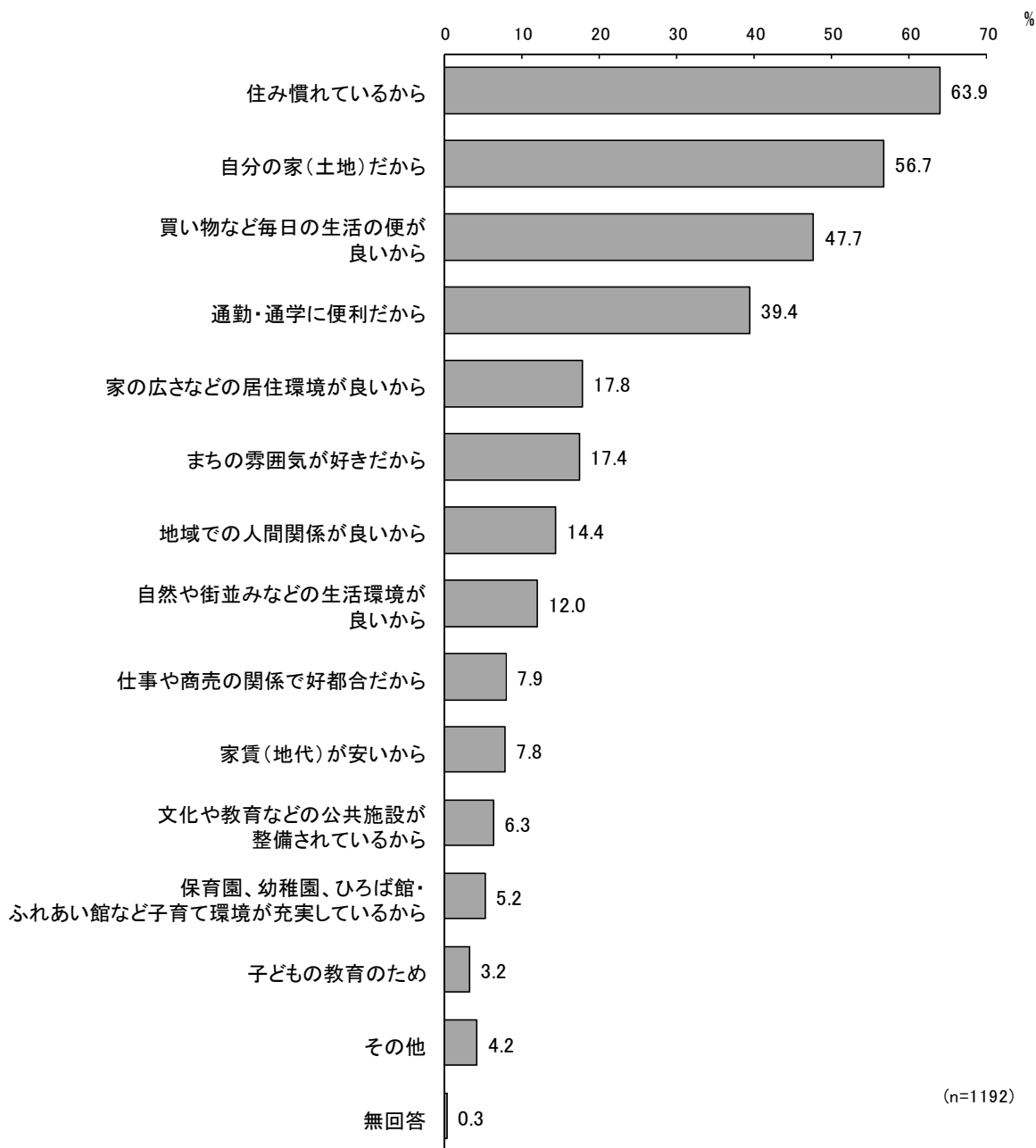


※昨年度調査

住み続けるつもり	61.1	87.9
当分の間は住むつもり	26.8	
できれば転居したい	2.9	5.5
転居するつもり	2.6	

設問：《住み続けたいとお答えの方に》その主な理由は何ですか。（回答はいくつでも）

「住み慣れているから」（63.9%）が6割半ば近くと最も高く、次いで「自分の家（土地）だから」（56.7%）、「買い物など毎日の生活の便が良いから」（47.7%）、「通勤・通学に便利だから」（39.4%）が比較的高くなっている。



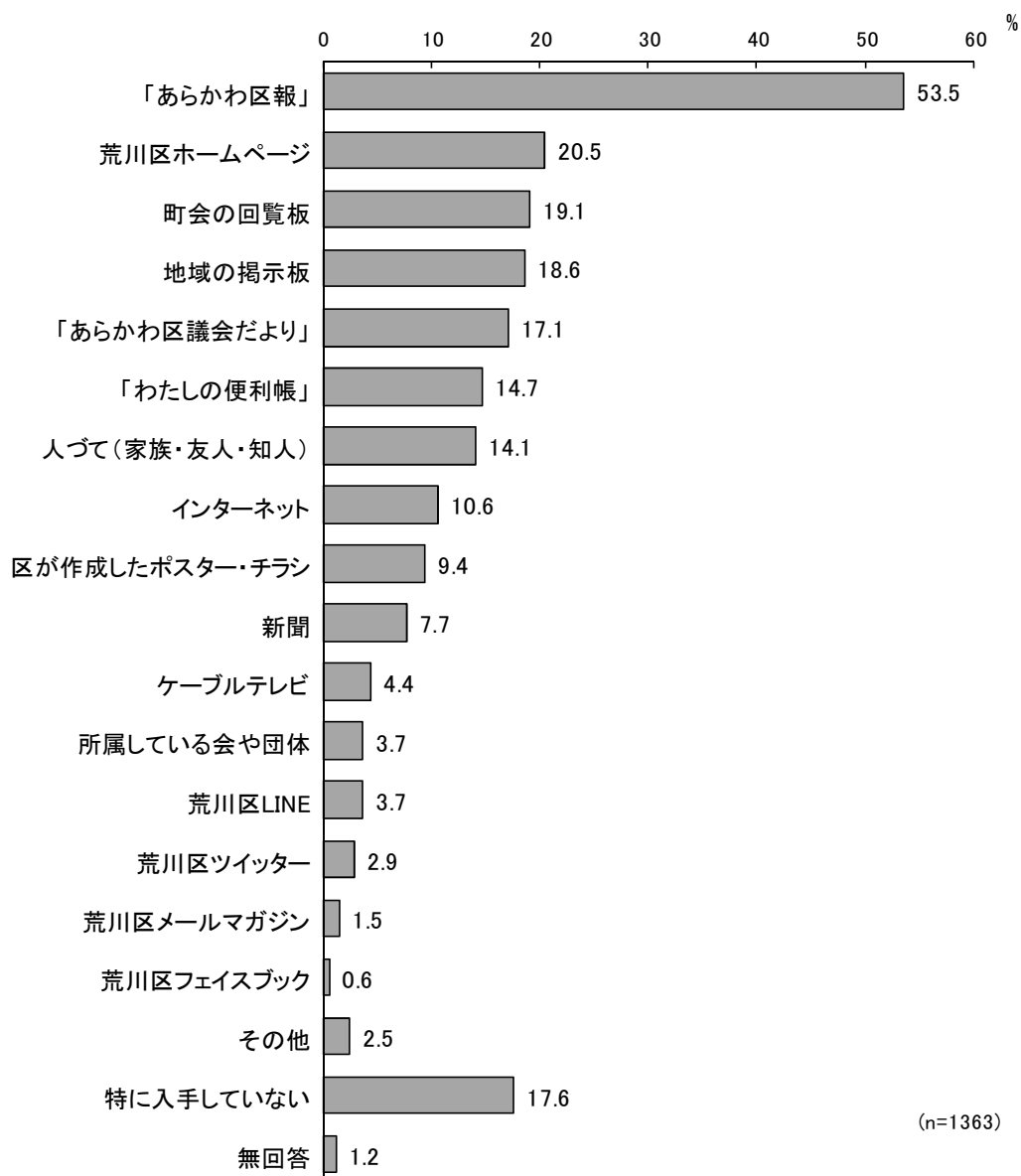
※昨年度調査（上位5項目）

住み慣れているから	57.3
自分の家（土地）だから	53.6
買い物など毎日の生活の便が良いから	37.0
通勤・通学に便利だから	31.3
家の広さなどの居住環境が良いから	10.4

2. 広報活動 【各部依頼調査項目】

設問：区政に関する情報は、どのように入手していますか。（回答はいくつでも）

「あらかわ区報」(53.5%)が5割半ば近くで最も高く、次いで「荒川区ホームページ」(20.5%)、「町会の回覧板」(19.1%)と続いている。



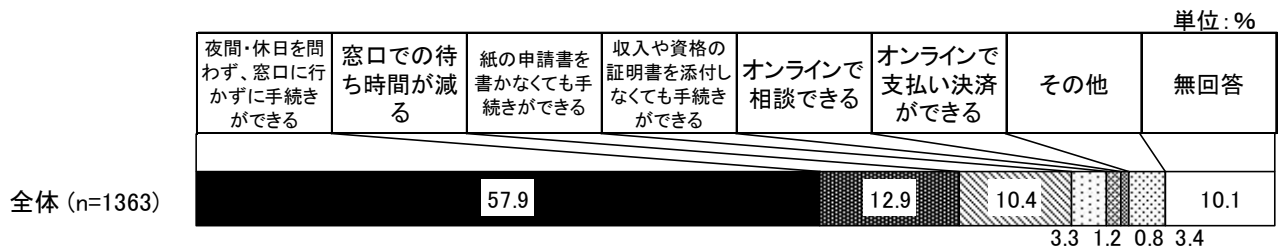
※令和元年度調査（上位5項目）

「あらかわ区報」	59.0
町会の回覧板	25.7
「あらかわ区議会だより」	22.4
地域の掲示板	20.7
「わたしの便利帳」	18.3

3. デジタル化の推進 【各部依頼調査項目】

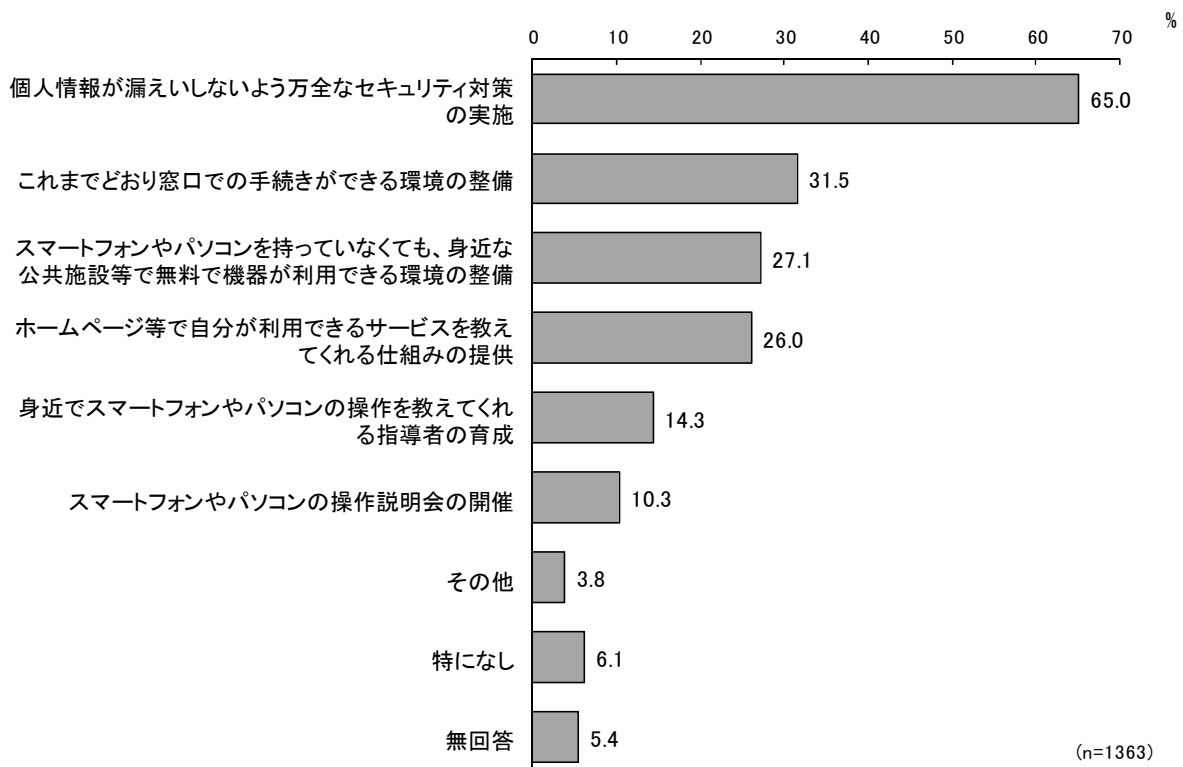
設問：行政手続きがデジタル化されることで、どのようなサービス向上を期待しますか。
 (回答は1つ)

「夜間・休日を問わず、窓口に行かずに手続きができる」(57.9%)が5割半ばを超え最も高く、次いで「窓口での待ち時間が減る」(12.9%)、「紙の申請書を書かなくても手続きができる」(10.4%)と続いている。



設問：スマートフォンやパソコンを使った行政サービスを利用する上で不安を感じることを解消するために、区が行うべきことは何だとお考えですか。(回答は3つまで)

「個人情報情報が漏えいしないよう万全なセキュリティ対策の実施」(65.0%)が6割半ばで最も高く、次いで「これまでどおり窓口での手続きができる環境の整備」(31.5%)が3割強となっている。

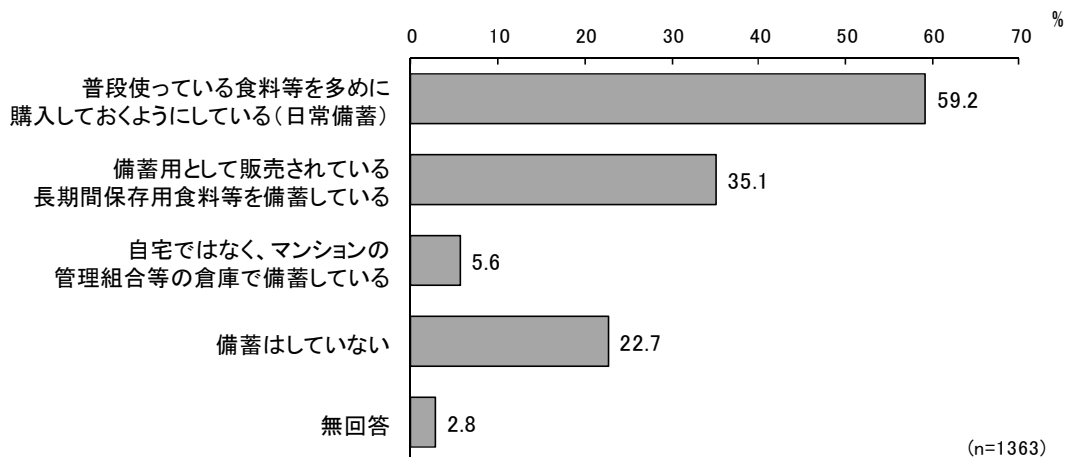


4. 防災対策 【各部依頼調査項目】

設問：災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、どのような取組をしていますか。

(回答は「備蓄をしていない」以外はいくつでも)

「普段使っている食料を多めに購入しておくようにしている(日常備蓄)」(59.2%)が6割弱で最も多く、次いで「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」(35.1%)が3割半ばとなっている。



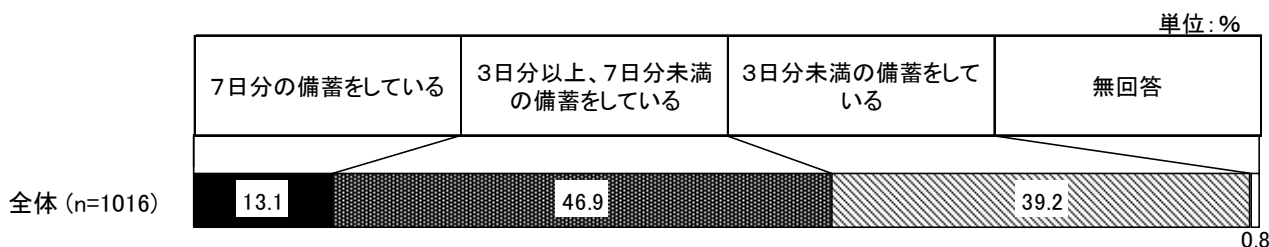
※令和2年度調査

普段使っている食料等を多めに購入しておくようにしている(日常備蓄)	60.3
備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	31.2
自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	5.5
備蓄はしていない	24.7

設問：《備蓄をしているとお答えの方に》

何日分の備蓄をしていますか。（回答は1つ）

「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」(46.9%)が4割半ばを超え最も高く、次いで「3日分未満の備蓄をしている」(39.2%)、「7日分の備蓄をしている」(13.1%)と続いている。

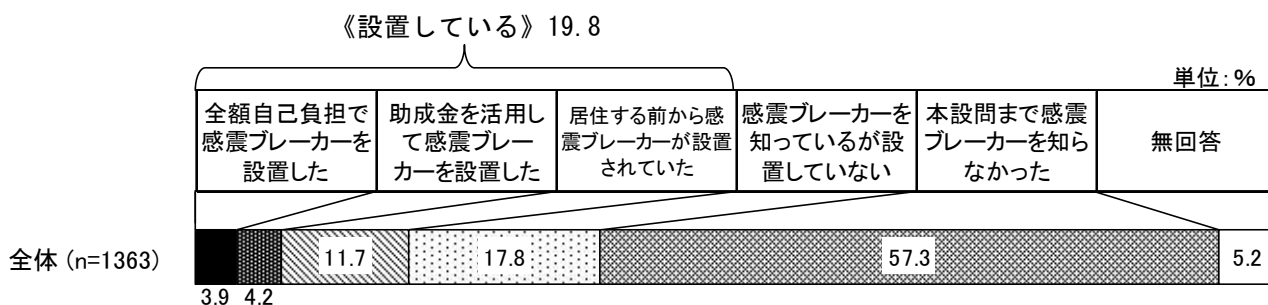


※令和2年度調査

7日分の備蓄をしている	11.4
3日分以上、7日分未満の備蓄をしている	49.7
3日分未満の備蓄をしている	37.6

設問：地震発生時の通電火災を防ぐために、強い揺れを感知した時に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」という装置の設置状況についてお答えください。（回答は1つ）

「全額自己負担で感震ブレーカーを設置した」(3.9%)と「助成金を活用して感震ブレーカーを設置した」(4.2%)と「居住する前から感震ブレーカーが設置されていた」(11.7%)を合わせた《設置している》(19.8%)は2割弱となったが、「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」(57.3%)が5割半ばを超えとなっている。



※昨年度調査

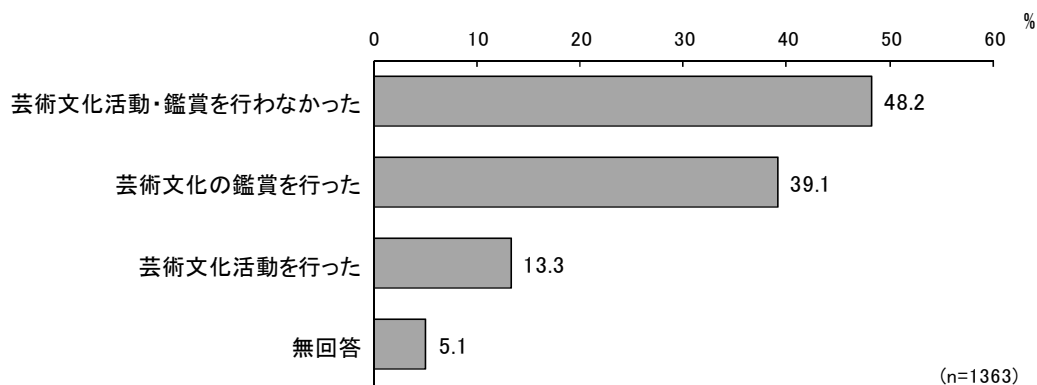
全額自己費用で設置した	4.6	18.6
助成金を活用して設置した	4.6	
居住する前から設置されていた	9.4	
知っているが設置していない	28.4	79.9
知らない	51.5	

5. 芸術文化活動 【各部依頼調査項目】

設問：あなたは、この1年間に芸術文化活動や芸術文化の鑑賞を行いましたか。

(回答はいくつでも)

芸術文化活動、芸術文化鑑賞の有無について聞いたところ、「芸術文化活動・鑑賞を行わなかった」(48.2%)が5割近くで最も多く、次いで「芸術文化の鑑賞を行った」(39.1%)が4割弱となっている。

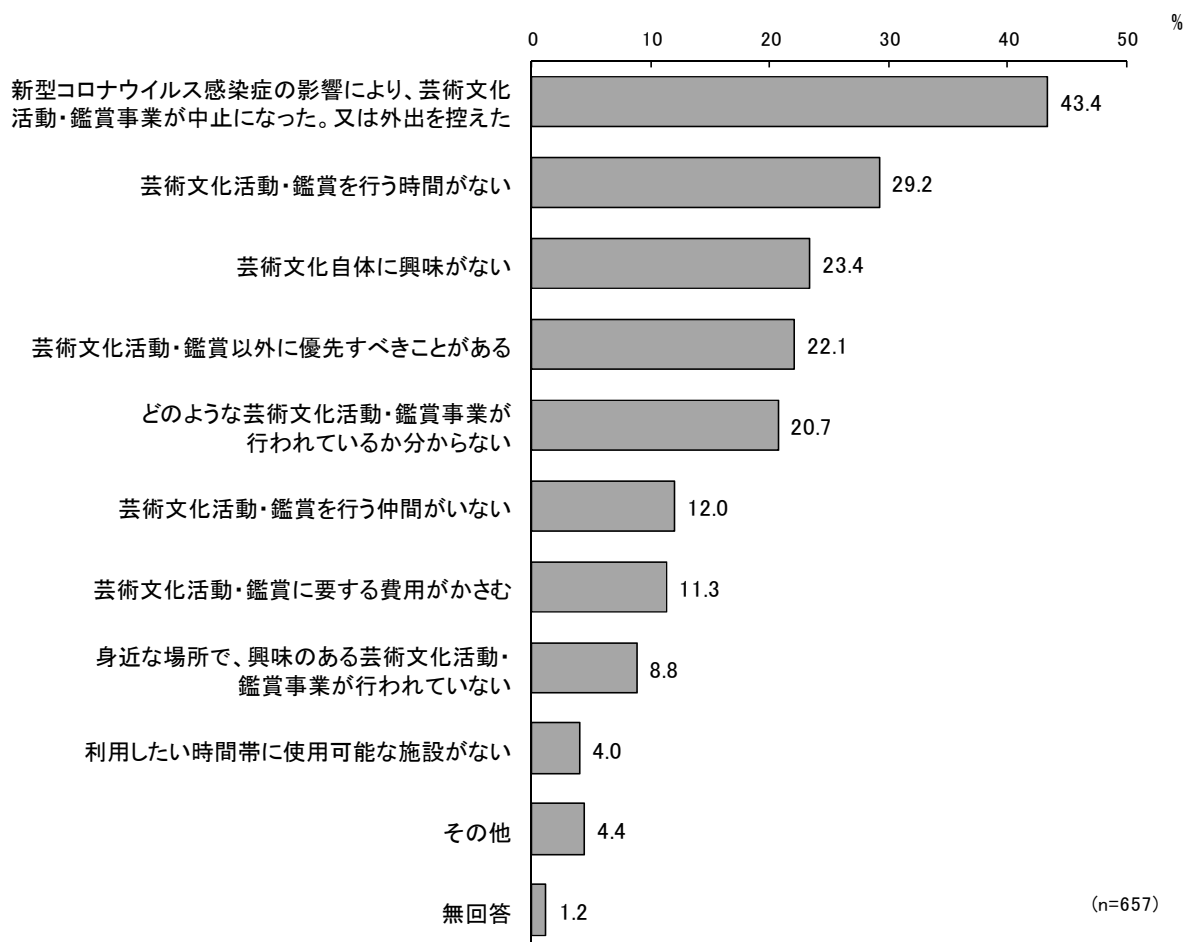


設問：《芸術文化活動・鑑賞を行わなかったとお答えの方に》

芸術文化活動・鑑賞を行わなかった理由を次の中からお選びください。

(回答はいくつでも)

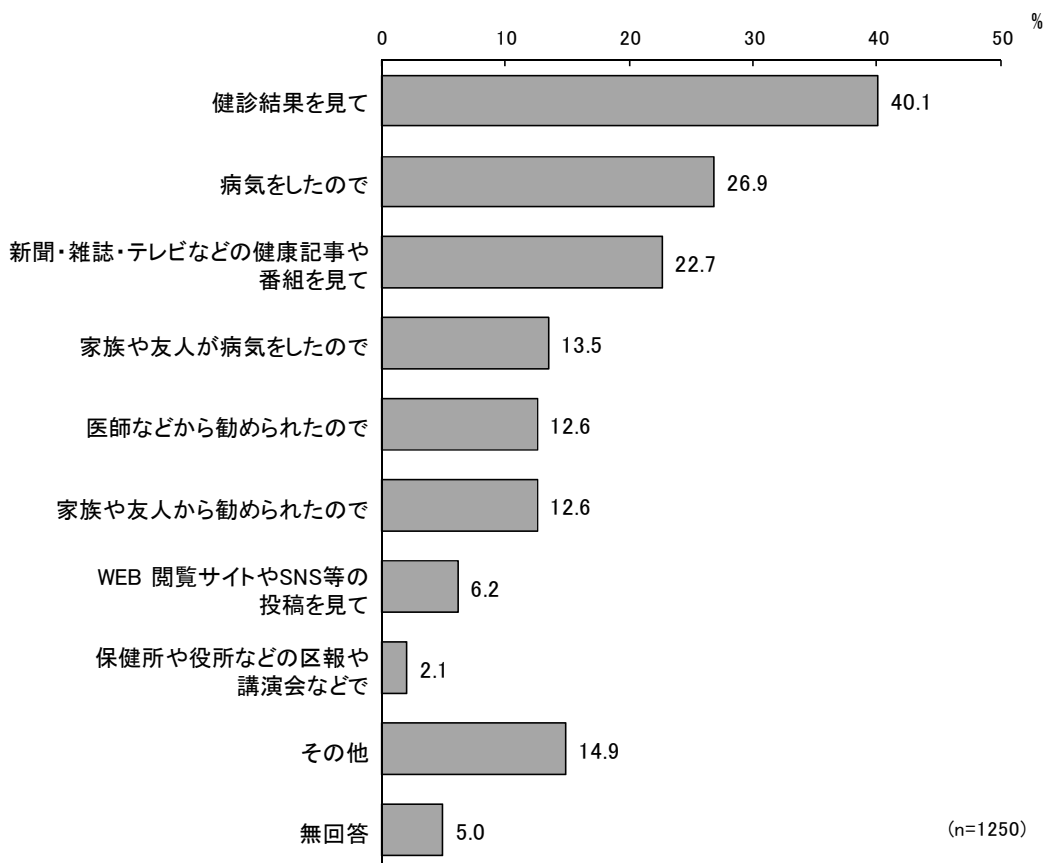
「新型コロナウイルス感染症の影響により、芸術文化活動・鑑賞事業が中止になった。又は外出を控えた」(43.4%)が4割半ば近くで最も高く、次いで「芸術文化活動・鑑賞を行う時間がない」(29.2%)、「芸術文化自体に興味がない」(23.4%)と続いている。



6. 健康づくり 【各部依頼調査項目】

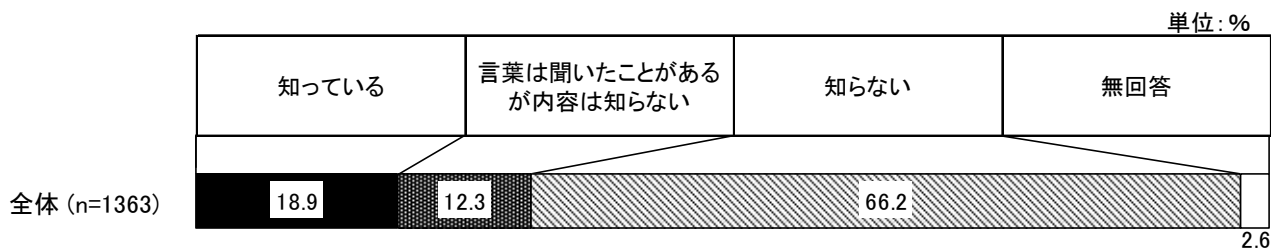
設問：あなたが健康に気をつけるようになったきっかけは何ですか。（回答はいくつでも）

「健診結果を見て」（40.1%）が4割で最も高く、次いで「病気をしたので」（26.9%）、「新聞・雑誌・テレビなどの健康記事や番組を見て」（22.7%）が続いている。



設問：ロコモティブシンドロームという言葉やその内容を知っていますか。（回答は1つ）

「知らない」（66.2%）が6割半ばを超え最も高く、次いで「知っている」（18.9%）、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」（12.3%）となっている。

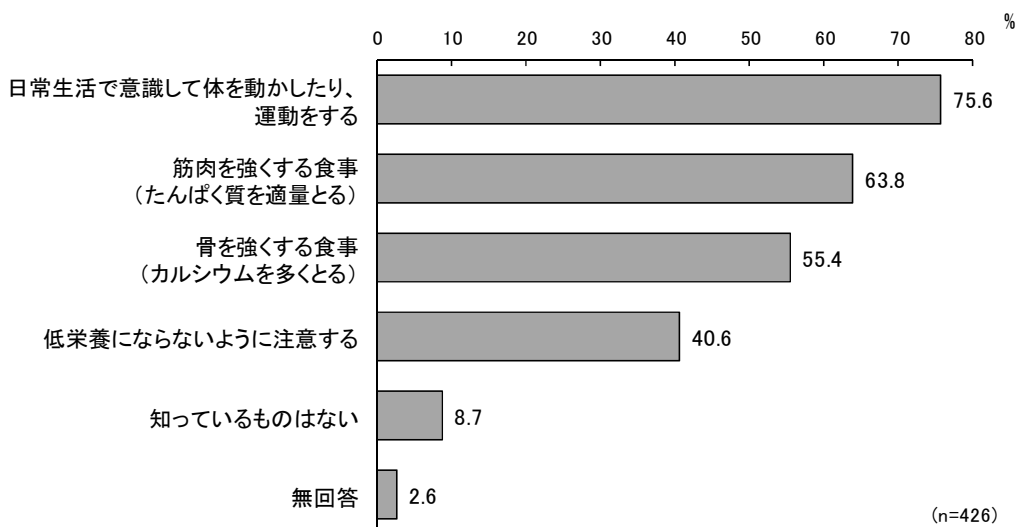


※平成 29 年度調査

内容を知っている	20.2
言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	20.1
知らない	56.2

設問：ロコモティブシンドロームを予防するために必要な生活習慣について、知っているものを選んでください。（回答はいくつでも）

「日常生活で意識して体を動かしたり、運動をする」（75.6%）が7割半ばで最も高く、次いで「筋肉を強くする食事（たんぱく質を適量とる）」（63.8%）が6割半ば近くとなっている。



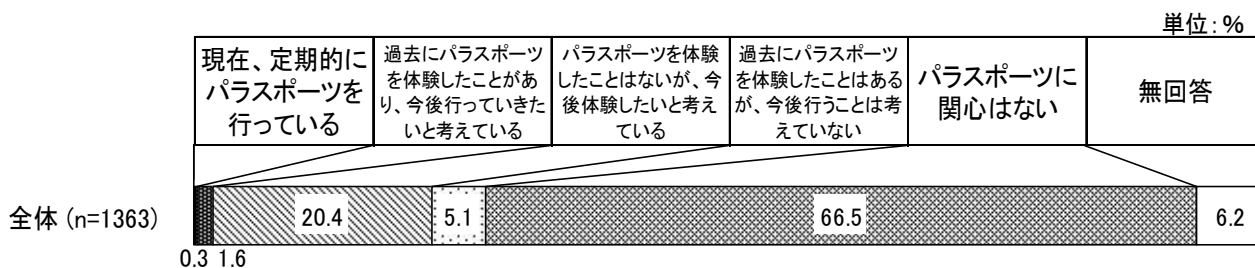
※平成 29 年度調査

日常生活で意識して身体を動かしたり、運動をする	83.0
筋肉を強くする食事（たんぱく質を適量とる）	62.4
骨を強くする食事（カルシウムを多くとる）	59.0
低栄養にならないように注意する	35.2
知っているものはない	5.2

7. スポーツ振興 【各部依頼調査項目】

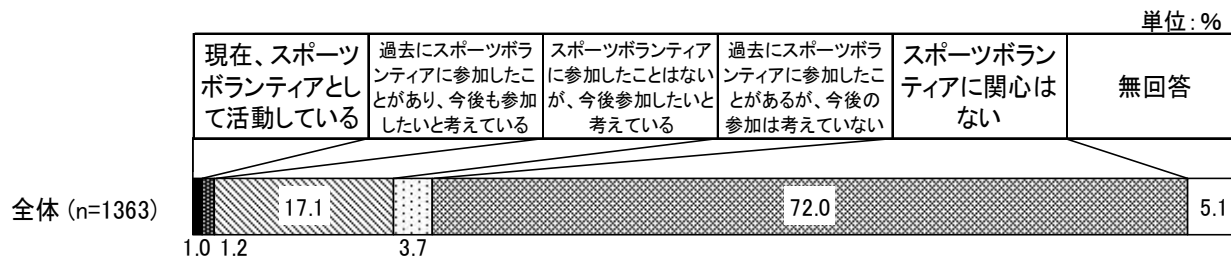
設問：パラスポーツに関心がありますか。（回答は1つ）

「パラスポーツに関心はない」（66.5%）が6割半ばを超え最も高く、次いで「パラスポーツを体験したことはないが、今後体験したいと考えている」（20.4%）と続いている。



設問：マラソン大会などを支えるスポーツボランティアの活動に関心がありますか。（回答は1つ）

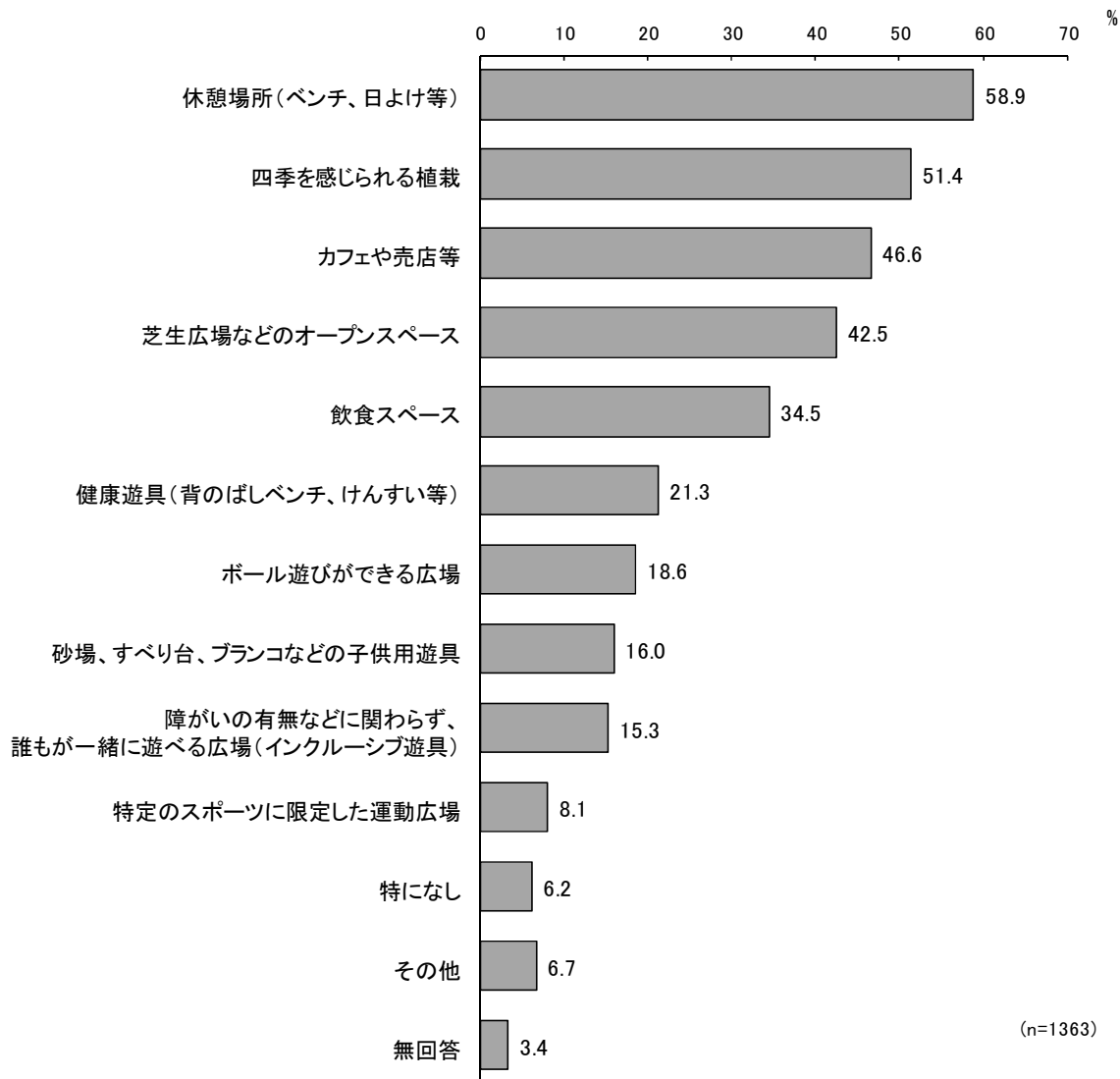
「スポーツボランティアに関心はない」（72.0%）が7割強で最も高く、次いで「スポーツボランティアに参加したことはないが、今後参加したいと考えている」（17.1%）と続いている。



8. 公園利用 【各部依頼調査項目】

設問：区では、新たに大規模公園（3,000 m²以上）の整備を予定しています。あなたが、新しい公園に欲しいと思う機能は何ですか。（回答はいくつでも）

「休憩場所（ベンチ、日よけ等）」（58.9%）が6割近くで最も高く、次いで「四季を感じられる植栽」（51.4%）、「カフェや売店等」（46.6%）と続いている。

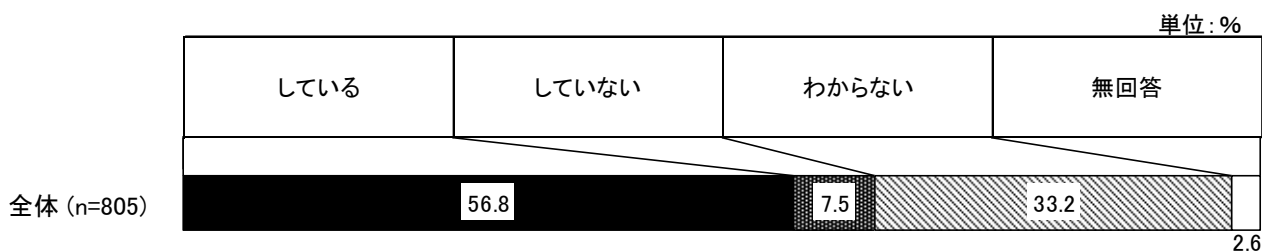


9. マンション 【各部依頼調査項目】

設問：《マンション・アパートなどの集合住宅にお住まいの方に》

住んでいる集合住宅は大規模修繕や耐震化の計画的な実施等、建物の老朽化に対して対策を講じていますか。(回答は1つ)

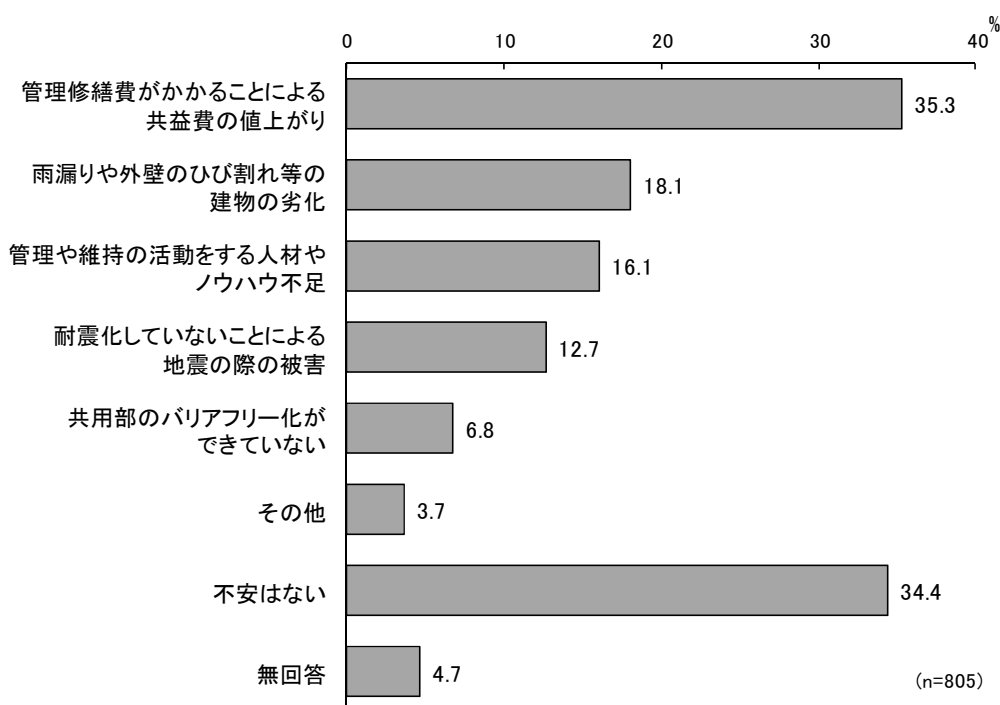
「している」(56.8%)が5割半ばを超え最も高く、「していない」(7.5%)、「わからない」(33.2%)となっている。



設問：《マンション・アパートなどの集合住宅にお住まいの方に》

集合住宅の管理や修繕に関して、どのような点に不安を感じますか。(回答はいくつでも)

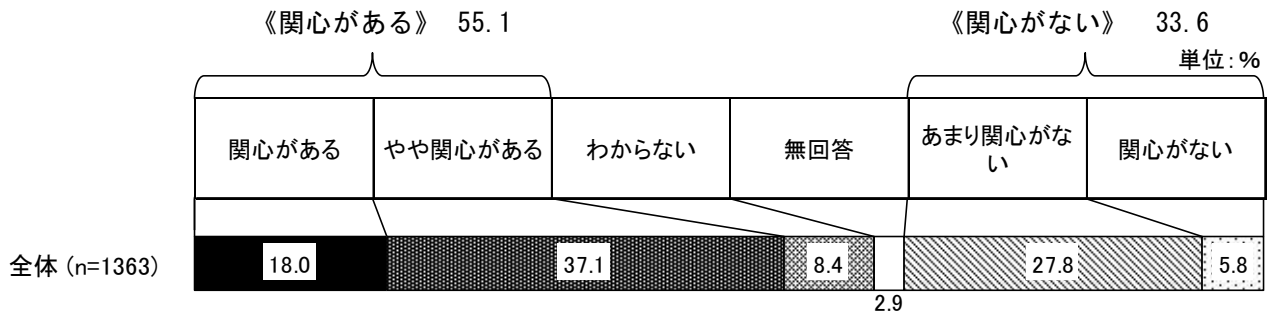
「管理修繕費がかかることによる共益費の値上がり」(35.3%)が3割半ばで最も高く、次いで「雨漏りや外壁のひび割れ等の建物の劣化」(18.1%)、「管理や維持の活動をする人材やノウハウ不足」(16.1%)と続いている。一方、「不安はない」(34.4%)は3割半ば近くとなっている。



10. 区政への関心と要望 【継続調査項目】

設問：あなたは、区政にどの程度関心がありますか。（回答は1つ）

「関心がある」（18.0%）と「やや関心がある」（37.1%）を合わせた《関心がある》（55.1%）は5割半ば、一方、「あまり関心がない」（27.8%）と「関心がない」（5.8%）を合わせた《関心がない》（33.6%）は3割半ば近く、《関心がある》との差は21.5ポイントとなっている。

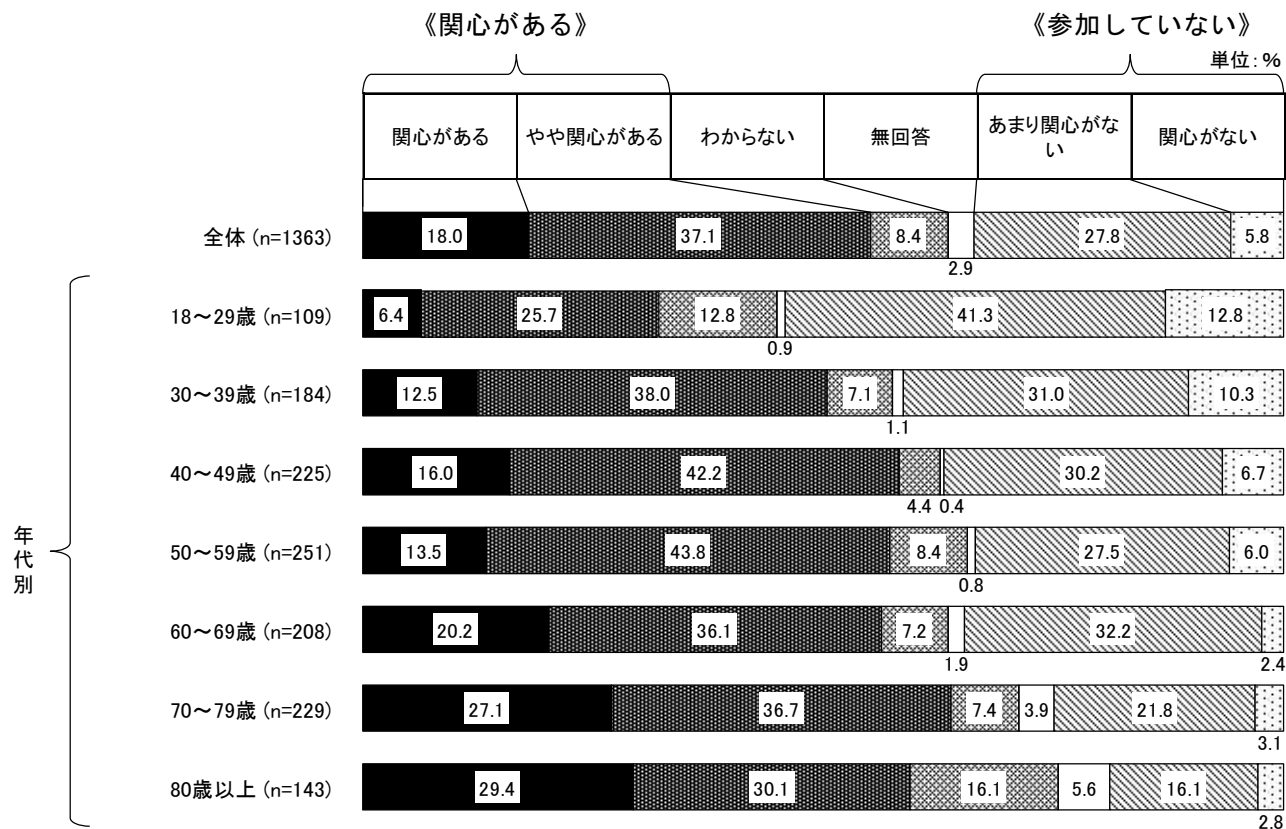


※昨年度調査

関心がある	18.9	59.8
やや関心がある	40.9	
あまり関心がない	28.7	32.5
関心がない	3.8	

年代別でみると、《関心がある》では70～79歳以上（63.8%）が6割半ば近くで最も高く、次いで80歳以上（59.5%）が6割弱で高くなっている。一方、《関心がない》は18～29歳（54.1%）が5割半ば近くと最も高くなっており、年齢層が低いほどおおむね割合が高くなっている。

区政への関心 年代別



設問：区が行っている事業のうち、「今後、特に力を入れてほしいと思うもの」を5つ選んでください。

【過年度比較】

過去の結果と比較すると、「地震・水害などの防災対策」は令和元年度を除き、第1位となっている。また、「地域防犯の取組」、「高齢者福祉の充実」は順位に多少変化があるものの、常に上位に挙げられている。

単位：%

年度	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
令和4年	地震・水害などの防災対策	58.8	地域防犯の取組	31.0	高齢者福祉の充実	26.8	子どもの安全対策	23.0	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.7	公園の整備充実・緑化の推進	18.3	幼児・児童の子育て支援の充実	15.3
令和3年	地震・水害などの防災対策	64.0	地域防犯の取組	32.8	子どもの安全対策	29.2	高齢者福祉の充実	27.1	幼児・児童の子育て支援の充実	18.1	感染症対策の充実	17.4	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	17.0
令和2年	地震・水害などの防災対策	58.2	地域防犯の取組	31.2	感染症対策の充実	25.3	子どもの安全対策	24.7	高齢者福祉の充実	24.3	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.7	幼児・児童の子育て支援の充実	17.7
令和元年	高齢者福祉の充実	35.8	地震などの防災対策	34.7	幼児・児童の子育て支援の充実	23.9	子どもの安全対策	19.2	地域防犯の取組	19.0	学校教育の充実	18.1	健康づくりなどの保健衛生施策の充実	17.3
平成30年	地震などの防災対策	37.6	高齢者福祉の充実	25.8	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	24.3	地域防犯の取組	23.9	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	23.3	幼児・児童の子育て支援の充実	21.6	道路・交通網の整備	19.5
平成29年	地震などの防災対策	31.0	高齢者福祉の充実	28.4	幼児・児童の子育て支援の充実	24.1	道路・交通網の整備	20.7	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	20.5	地域防犯の取組	20.1	公園の整備充実・緑化の推進／魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	19.3
平成28年	地震などの防災対策	37.0	高齢者福祉の充実	31.7	幼児・児童の子育て支援の充実	24.9	地域防犯の取組	22.2	子どもの安全対策	20.4	公園の整備充実・緑化の推進	19.6	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.0
平成27年	地震などの防災対策	31.8	高齢者福祉の充実	31.4	幼児・児童の子育て支援の充実	23.5	子どもの安全対策	21.9	地域防犯の取組	21.7	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.4	学校教育の充実	18.4
平成26年	地震などの防災対策	40.9	高齢者福祉の充実	35.7	幼児・児童の子育て支援の充実	25.3	地域防犯の取組	21.8	学校教育の充実／子どもの安全対策		18.2	公園の整備充実・緑化推進	18.1	
平成25年	地震などの防災対策	38.6	高齢者福祉の充実	31.6	地域防犯への取組	24.3	幼児・児童の子育て支援の充実	21.8	子どもの安全対策／公園の整備充実・緑化推進		19.0	学校教育の充実	18.9	

ライフステージ別にみると、「地震・水害などの防災対策」（全体1位）は家族形成期、家族成長前期以外の全ての段階で第1位に挙げられている。また、家族形成期では「幼児・児童の子育て支援の充実」（全体7位）が、家族成長前期では「子どもの安全対策」（全体4位）が、それぞれ第1位に挙げられている。

今後、区に力を入れてほしい事業（上位7位） ライフステージ別

単位：％

区分	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		第7位	
全体	地震・水害などの防災対策	58.8	地域防犯の取組	31.0	高齢者福祉の充実	26.8	子どもの安全対策	23.0	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	19.7	公園の整備充実・緑化の推進	18.3	幼児・児童の子育て支援の充実	15.3
家族形成期	幼児・児童の子育て支援の充実	56.9	子どもの安全対策	53.3	地震・水害などの防災対策	44.5	学校教育の充実	32.1	公園の整備充実・緑化の推進	27.7	地域防犯の取組	24.8	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	20.4
家族成長前期	子どもの安全対策	63.6	地震・水害などの防災対策	57.6	学校教育の充実	41.5	地域防犯の取組	31.4	幼児・児童の子育て支援の充実	28.8	公園の整備充実・緑化の推進	19.5	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	16.9
家族成長後期	地震・水害などの防災対策	55.2	地域防犯の取組	32.3	学校教育の充実	27.1	子どもの安全対策	26.0	道路・交通網の整備	19.8	公園の整備充実・緑化の推進	19.8	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	18.8
家族成熟期	地震・水害などの防災対策	71.0	地域防犯の取組	36.0	高齢者福祉の充実	29.0	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	22.0	公園の整備充実・緑化の推進	22.0	子どもの安全対策	19.0	感染症対策の充実	17.0
高齢期	地震・水害などの防災対策	65.7	高齢者福祉の充実	47.4	地域防犯の取組	26.8	低所得者に対する福祉の充実	23.0	バリアフリー化の推進	19.2	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	18.8	感染症対策の充実	18.3
（一人暮らし） 高齢暮らし	地震・水害などの防災対策	50.0	高齢者福祉の充実	47.4	地域防犯の取組	28.9	低所得者に対する福祉の充実	23.7	公園の整備充実・緑化の推進	17.5	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	16.7	感染症対策の充実	15.8
一人暮らし	地震・水害などの防災対策	56.4	地域防犯の取組	38.5	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	26.9	低所得者に対する福祉の充実	18.6	高齢者福祉の充実	18.6	子どもの安全対策	16.0	道路・交通網の整備	16.0
その他	地震・水害などの防災対策	61.5	地域防犯の取組	31.2	高齢者福祉の充実	28.4	騒音・ボイ捨て対策などの良好な生活環境のための施策の充実	21.4	公園の整備充実・緑化の推進	16.1	魅力ある景観づくり、木造住宅密集地域の改善など街づくりの推進	14.0	道路・交通網の整備	13.3

**第 47 回 荒川区政世論調査
《概要版》**

—— 令和 4 年度 ——

令和 5 年 1 月 発行

登 録 (04) 0076
発 行 荒川区区政広報部秘書課
東京都荒川区荒川 2-2-3
電話 03-3802-3111 (代表) 内線 2161